

## 平成 29 年度第 1 回 IR 実務担当者連絡会アンケート結果

「平成 29 年度第 1 回 IR 実務担当者連絡会」アンケートは、参加者 41 名のうち、スタッフ 10 名を除いた 31 名中 28 名から回答があった。9 割を超える参加者から、会への参加に満足したという回答が得られている。今回は 5 件の報告があり、アンケート集計提示法、IR 導入期の IR 室活動報告、教育アセスメント、大学ランキング対応、中期目標計画進捗管理と、幅広いテーマで行われた。参加者が所属機関で取り組んでいる業務に直接関連しないテーマでも、興味を引いたものがあったようである。

今後取り扱ってほしいテーマ・内容には、教学 IR、経営 IR といった対象別の事例、大学評価や IR の結果を改善に活かす事例、IR 人材育成やスキルについて、という要望があった。また、今回発表のあったテーマのうち、世界大学ランキングや、教育アセスメント等については、今後も引き続き詳しく知りたいという声もあった。

IR の取組は、大学や研究機関の規模や設置形態に固有のものと、それらの別に関わらず共通するものがある。本連絡会の参加者の所属機関が多岐にわたるようになりつつあるため、参加者のニーズにこたえられるように、今後もバラエティに富んだ事例報告を期待したい。

(藤井 [名古屋大])

平成 29 年 5 月 19 日開催

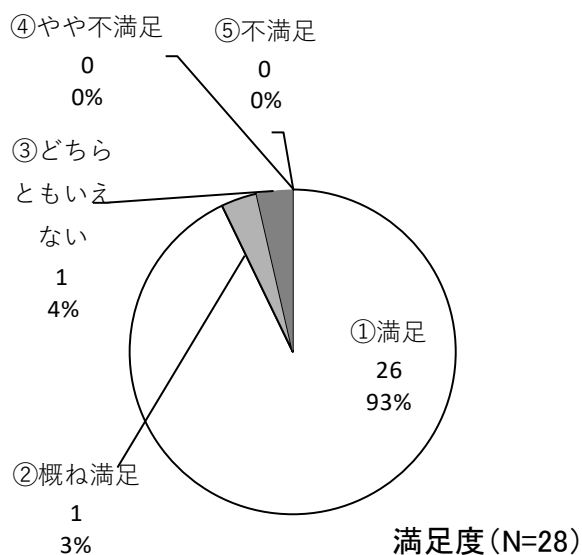


図 1 : 満足度

## アンケート結果の詳細

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
1	私立	DP→カリキュラムチェックリスト→シラバス反映…ウチも苦勞しています。他大学もがんばっておられる様子から勇気もらいました。考えはズレてないと自信を持ちました。	③どちらともいえない	自分の不勉強からよく解らない話になったものもあった。大学ランキングとか国立などの話題は弱小大学からはなかなか遠い…。		
2	関係機関	(2. の理由と同じ)	②概ね満足	所属機関が大学共同利用機関法人なので、大学との差を対比的に考える機会となった。	附置研等の IR の取り組み	
3	国立	いつもありがとうございます。大変勉強になりました。今日は特に、藤原先生の「平均値」ではなく、2件法の「肯不定」でデータをまとめるという考え方が、とても参考になりました。	①満足	今回は発表もさせていただき、ご質問等がいただけたので①を選ばせていただきました。	—	本日も(事前準備を含め)誠にありがとうございました。
4	関係機関	IR 実務担当者の育成が自分の仕事なので、現状をそのまま知ることができたこと。	①満足	仕事に活かそうなので。また出向中なので自大学に戻ってからも役に立ちそうだと思います。	IR 担当者の育成方法について	4月から大学院に入学し、教職員の人材育成を修論テーマとする予定です。そちらの観点からも役に立つと思います。今後ともよろしく願います。
5	不明	ランキングの仕組	①満足			

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
6	国立	どのご発表からも具体的に業務で参考にできるブラクティカルな学びがありました。(ここにすべてを記載できませんが) また、発表の内容が多岐に渡っていることから分かるように「IR」が担当するものやその役割や大学によって様々だということが再認識できました。	①満足	上記回答と重複しますが、具体的な学びがあったことがよかったです。	IRが出した分析データをどう実際の政策に活かすのか。そのための組織システム、意識改革は必要なのか？	
7	国立	具体的な取組や課題を通して、各大学の活動状況を紹介いただいた他、質疑が大変参考になった。	①満足	各題目について、質疑で深掘りをしていただき、充実した内容でした。		
8	国立	・アセスメントとIRの関わり方について考えるきっかけとなった。 ・直接、大学ランキングは担当していないが、大学ランキングを分析する際の参考になった。	①満足	各大学の状況を垣間見ることができたため。	教学IRというよりは、経営としてのIRの活用方法について事例を伺いたいです。	
9	私立	新しいデータの見せ方やアセスメント、カリキュラムマップに関して具体的に学ぶ機会がありました。	①満足	知りたいことを知ることができました。	米国のアセスメント・オフィスとIR室の関係について	
10	関係機関	大学ランキングに対してIRのコミットメントの支援がよくわかりました。	①満足	IRの現場の声がよくわかりました。		
11	国立	IR実務に関する具体的な提案、提言が多くあり、本学のIRが進むべき方向性を考えることができた。	①満足	実務に携わる方々のお話であり、美しい結果だけに終始せず苦勞も分かる会であったため。	組織改革や大学経営とIRの役割について、具体的な話題提供があるとありがたい。	

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
12	国立	世界大学ランキングへの対応の状況を知ることができました。	①満足	なかなか聞くことができない話を聞くことができました。	世界大学ランキングへの対応:対応部署や対応方法を共有したいです。 評価結果の資源配分への活用:どの程度行われているのか共有したいです。	
13	関係機関	各大学の取組の現状がよく分かりました。	①満足	大学ポートレートによる情報の活用を図るヒントを得るために参加しました。実状、ニーズを知ることができました。		
14	関係機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果の分析方法(指標の2極化)</li> <li>アンケート設問を少なくする、スマホベースの実施について</li> <li>兵庫教育大学の事例(単科大学でも同様の特徴があるのでは…という点)</li> <li>大学ランキングへのIRの関わりについて</li> <li>中期計画進行管理システムについて</li> </ul>	①満足	現行の業務、出向元の大学と照らし合わせながら、お話を伺いました。どの報告も今後参考になる内容でした。	学修成果の測定(ルーブリック)	
15	私立	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ定義の重要性の再認識</li> <li>わかりやすい分析結果の見せ方</li> <li>IRの役割(分析結果の総論や解釈等まで踏みこむか)についての再確認(IRを守るためにも)</li> </ul>	①満足	日々の悩み解消のヒントがたくさん見つかりました。とても有意義でした。		
16	私立	つっこんだ議論ができたので、本などに書かれていない細かい内容を把握することができた。	①満足	裏話的な内容を聞いたのがよかったです。		始めて参加させていただきました。勉強させていただきました。ありがとうございました。

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
17	国立	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の計画を作成するにあたって意識すべき、評価スケジュールと評価活動について</li> <li>大学ランキング等の調査を処理する上で、注意すべき調査の定義、データの扱い</li> </ul>	①満足	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの報告も日々の評価活動、調査活動業務に活用できる内容が含まれており、大変参考になった。</li> <li>アンケートの設問を作成する時に重要なことは大変参考になった。</li> </ul>	評価活動とIRの連携について	
18	私立	「ここだけの話」的な雰囲気を守られながら、IRあるある話を共有できたこと。失敗例を含めた活動事例を多く聞けたことで、本学の現状と課題を整理することができました。	①満足	質疑応答を丁寧にしていただけののが非常に良かったです。是非続けていただきたいです。		
19	国立	<ul style="list-style-type: none"> <li>いかに学生にCPやDPを意識させるか。</li> <li>ライカースケールの取り扱い方</li> <li>他大学における中期計画の進行管理</li> </ul>	①満足	計画の進行管理について多くのヒントを得ることができたため。		<ul style="list-style-type: none"> <li>調査への回答の難しさなど、本学でもたびたび悩むことも話にでており勉強になりました。</li> <li>計画の進行管理について、多くのヒントを得ることができました。ありがとうございました。</li> <li>学内での「定義」の共通認識について考えさせられました。</li> </ul>

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
20	私立	IR室は大学に昨年度設置され(専任職員1名)手探り状態であり、続いて今年度から法人全体のIR室が設置され、そこに兼務で加わった形である。まだ、ほぼ何も活動できていないが、皆様も試行錯誤の状態の中ながら一生懸命、何かを発信しようと努力されている姿に、やり方・やりようは多種で見習うべき点が多くありました。	①満足	実際に苦勞された点や学内でのIRの存在や生かし方など自分がすぐ直面するであろうことを多く聞くことができた。		
21	公立		①満足	どの講演も興味深く、参考になるお話だったので。どうもありがとうございました。	教員評価について、導入・手法など内部質保証について	とても楽しく拝聴させていただきました。どうもありがとうございました。
22	公立	初めて参加させていただいたが、全体として非常に勉強になった。特に大学ランキングの事情については興味深かった。	①満足	各大学での取り組みや課題(裏も含めて)が聞くことができ、勉強になった。	大学ランキングについては、本学も含め、他大学も興味があるようなので、継続的にテーマとして取り上げて欲しい。	
23	国立	事務職異動職のため、数年ごとに大学を異動し、IR、評価を担当したり、しなかったりを繰り返しています。今回、久しぶりに参加させていただき、再び刺激を受けました。10年前と比べ確実に変化していると感じました。	①満足	各大学の現状がわかったため。	各大学(地方)を会場にしましたと最近聞きました。とてもよいことと思いました。教学IRの取り扱いについて、具体的な例をもとに深く検討した方がよいのではないかと思います。是非お願いいたします。	
24	国立	実務として大変参考になった。非常に深いところで心構えなども考えさせられた。	①満足	同左	合併、リストラに関わる業務とIRとの関係	

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
25	国立	さまざまな大学の実例が聞けて、大変参考になりました。4月からIR担当になり、いろいろ悩むことが多いのですが、今日得たさまざまな情報を参考に自分なりに考え、また、課内で話し合い少しでも良い形にしていけるように、と思います。	①満足	有益な情報を得られたこと。 IR業務へのモチベーションが上がったこと。		
26	私立	アンケート調査実施を本学でも考えており、質問項目の選定や関係者など藤原先生発表を聞いて、学ぶことができ、とても勉強になりました。	①満足	IRの取り組みに関する現状や他大学の事例をお話できたので、とても興味深かったです。大学の規模などにもよると思いますが、本学の特性を踏まえ部分的に採り入れさせていただけたら、と思います。	就職後、本学に今年配属となりました。当室は2名体制です。他の事務職員や先生方に我々の考え方や取り組みをご理解いただくことが大変で、現在、ご理解いただくために努力しておりますが、次回はIRに関わる職員の必要なスキルなどもお教えいただければと思います。	
27	私立	ランキング業務の苦労、工夫を知ることができました。	①満足	各報告が多様だったため、IR活動の幅、深みがあって、IR部署数の増加だけでなく、日本のIRが発展期に入ってきているのを実感できました。	3つのポリシーの一体的な策定、改善のツールとしてのカリキュラム・マップ。関心が高まってきている気がします。	
28	私立	初めて参加させていただきました。集計や体制だけでなく、既存の組織への関わりなど幅広く学ばせていただきました。スマホの活用やカリキュラムマップの整備など案外、本学は遅れていないのだと思い、安心しました。	①満足	国(公)立は法人評価という種類の評価があることを知りませんでした。大学の規模に関わらず、IRというテーマで色々と取り組まれていることを知ることができました。	・満足度アンケートやアセスメントの種類・時期など ・結果提示後のPDCA	時間配分など参加しやすかったです。また機会がありましたら参加させていただきます。ありがとうございました。

以上